



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社Finatextホールディングス 上場取引所 東
コード番号 4419 URL <https://hd.finatext.com/>
代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)林 良太
問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)伊藤 祐一郎 (TEL)03(6265)6828
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,086	32.5	△184	—	△181	—	△311	—
2023年3月期第2四半期	1,575	75.6	△339	—	△337	—	△346	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △357百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 △399百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△6.30	—
2023年3月期第2四半期	△7.10	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高がありますが、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	19,082	8,453	41.4
2023年3月期	17,709	8,801	46.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 7,906百万円 2023年3月期 8,247百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,352	40.1	21	—	4	—	△164	—	△3.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	49,516,856株	2023年3月期	49,407,656株
2024年3月期2Q	—	2023年3月期	—
2024年3月期2Q	49,465,816株	2023年3月期2Q	48,832,070株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、「金融を”サービス”として再発明する」をミッションに掲げております。このミッションのもと、金融サービス事業者向けの次世代クラウド基幹システムの提供等を通じて、パートナー企業とともに人々にとって遠い存在である金融サービスを暮らしに寄り添ったものにする 것을目指しております。

今般、日本の経済は、新型コロナウイルスの5類への移行に伴う活動制限の解除により、社会経済活動の正常化が進み、国内の景気はゆるやかな回復基調で推移しました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化を背景とするエネルギーや原材料価格の高騰等によるインフレ懸念が高まり、依然として先行き不透明な状況が続いております。しかしながら、金融サービスにおけるデジタルトランスフォーメーションの後押しは衰えることなく、当社グループが提供するサービスのニーズも引き続き高まっていると認識しております。

このような事業環境のもと、当第2四半期連結累計期間においては、継続的な事業成長を実現するため、引き続き人材採用や機能拡充に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、前連結会計年度末以降、金融インフラストラクチャ事業の保守運用業務が拡大したこと、ビッグデータ解析事業のデータライセンス契約件数が増加したことにより、ストック収益が拡大し、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,086,954千円（前年同期比32.5%増）、営業損失は184,124千円（前年同期は339,505千円の営業損失）、経常損失は181,370千円（前年同期は337,799千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は311,518千円（前年同期は346,609千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

(i) 金融インフラストラクチャ事業

金融インフラストラクチャ事業では、金融サービスを運営するために必要となる複雑な基幹システムを、クラウド上でSaaS型のシステムとして顧客に提供するものであります。

証券インフラストラクチャビジネスでは、サービス提供しているパートナーへの保守運用サービス、合意済みのパートナーに向けた初期開発に注力しました。当第2四半期連結累計期間においては、前連結会計年度にサービス提供を開始したパートナーからの保守運用業務によるストック収益、及び投資一任サービスを提供したパートナーの顧客が保有するAUMの増加等に伴って増加する従量課金収益が売上高の拡大に寄与しました。

サービスの初期開発については、当第2四半期連結累計期間中の新規ローンはなかったため、「BaaS」上での稼働サービス数は8サービス（前連結会計年度末時点：8サービス）となっております。

保険インフラストラクチャビジネスでは、新規パートナーの獲得に向けた「Inspire」の機能の拡充と、合意済みのパートナーへの「Inspire」の初期導入支援に注力いたしました。当第2四半期連結累計期間においては、「Inspire」の機能を拡充、初期導入先向けへの開発業務に注力しました。

初期導入支援については、当第2四半期連結累計期間中の新規ローンはなかったため、「Inspire」上での稼働社数は9社（前連結会計年度末時点：9社）となっております。

クレジットインフラストラクチャビジネスでは、当第2四半期連結累計期間よりクレジットインフラストラクチャ「Crest」が稼働開始し、個人向けローンサービスの実証実験を開始いたしました。これにより、「Crest」上での稼働社数は1社（前連結会計年度末時点：0社）となっております。

コスト面については、証券インフラストラクチャビジネス、保険インフラストラクチャビジネス、及びクレジットインフラストラクチャビジネスともに、将来のビジネス拡大に備えるために、引き続き人材採用を中心とした先行投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の金融インフラストラクチャ事業の売上高は1,019,120千円（前年同期比40.7%増）、セグメント損失は338,013千円（前年同期は464,925千円のセグメント損失）となりました。

(ii) フィンテックソリューション事業

フィンテックソリューション事業では、金融機関向けにデジタルトランスフォーメーション及びデジタルマーケティングの支援を行っております。

ソリューションビジネスでは、引き続きシステム構築を支援した、株式会社三菱UFJ銀行「Money Canvas」の追加機能拡充の支援等を進めました。

以上の結果、フロー収益が拡大し、当第2四半期連結累計期間のフィンテックソリューション事業の売上高は510,073千円（前年同期比31.1%増）、セグメント利益は28,796千円（前年同期比124.6%増）となりました。

(iii) ビッグデータ解析事業

ビッグデータ解析事業は、ビッグデータを保有する企業のデータ利活用の促進を支援しており、企業の持つビッグデータを機関投資家や官公庁に提供するデータライセンスビジネスや、企業のデータ利活用を支援するデータ解析支援ビジネスを行っております。

データライセンスビジネスでは、機関投資家向けにオルタナティブデータを提供する「Alterna Data」において新規データホルダーとの提携を行い、取り扱うことができるデータの種類の拡充をいたしました。

以上の結果、「Alterna Data」の契約件数が引き続き好調に伸長し、当第2四半期連結累計期間のビッグデータ解析事業の売上高は557,759千円（前年同期比20.8%増）、セグメント利益は100,383千円（前年同期比4.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産合計は19,082,251千円となり、前連結会計年度末に比べて1,372,425千円増加いたしました。

流動資産は18,534,859千円となり、前連結会計年度末と比較して1,223,603千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が416,999千円、売掛金が140,872千円減少した一方で、証券業における預託金、信用取引資産、並びに短期差入保証金があわせて1,151,123千円、営業貸付金が494,240千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は547,392千円となり、前連結会計年度末と比較して148,821千円増加いたしました。これは主に無形固定資産が55,979千円、投資その他の資産に含まれる長期差入保証金が45,733千円、有形固定資産が29,755千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は10,628,632千円となり、前連結会計年度末と比較して1,720,718千円増加いたしました。

流動負債は9,842,497千円となり、前連結会計年度末に比べて1,016,795千円増加いたしました。これは主に流動負債のその他に含まれる預り金が409,901千円、証券業における預り金、信用取引負債、並びに受入保証金があわせて326,772千円、契約負債が98,488千円増加したこと等によるものであります。

固定負債及び特別法上の準備金は786,135千円となり、前連結会計年度末に比べて703,922千円増加いたしました。これは主に、長期借入金が増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は8,453,618千円となり、前連結会計年度末に比べて348,292千円減少いたしました。これは主に資本金が4,843千円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失により利益剰余金が311,518千円、資本剰余金が29,509千円、非支配株主持分が6,498千円減少したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、現金及び現金同等物に係る換算差額12,193千円の資金増を含めた結果、前連結会計年度末に比べ488,999千円減少し、4,865,378千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は1,047,241千円(対前年同期比312.5%増)となりました。この主な増加要因として、証券業における預り金及び受入保証金の増減額825,966千円の増加があった一方で、減少要因として、証券業における預託金の増減額810,000千円、証券業における信用取引資産及び信用取引負債の増減額700,571千円、営業貸付金の増減額494,240千円等の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は225,951千円(対前年同期比42.3%増)となりました。この主な減少要因として、無形固定資産の取得による支出92,884千円、定期預金の預入による支出72,000千円、敷金及び保証金の差入による支出45,528千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は772,000千円(対前年同期は16,515千円の使用)となりました。この主な減少要因として長期借入金の返済による支出37,500千円があった一方で、増加要因として長期借入れによる収入800,000千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,354,377	4,937,378
売掛金	545,225	404,353
契約資産	77,099	177,718
営業貸付金	167,335	661,576
証券業における預託金	6,621,000	7,431,000
証券業における信用取引資産	3,463,695	3,665,073
証券業における短期差入保証金	700,193	839,938
未収入金	47,738	154,383
その他	337,840	264,792
貸倒引当金	△3,250	△1,356
流動資産合計	17,311,255	18,534,859
固定資産		
有形固定資産	91,983	121,738
無形固定資産	133,364	189,343
投資その他の資産	173,222	236,309
固定資産合計	398,570	547,392
資産合計	17,709,825	19,082,251

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,869	31,088
契約負債	245,754	344,243
証券業における預り金	2,705,923	3,550,435
証券業における信用取引負債	1,608,748	1,109,554
証券業における受入保証金	3,265,837	3,247,292
1年内返済予定の長期借入金	37,500	199,980
未払法人税等	79,369	70,255
その他	846,698	1,289,647
流動負債合計	8,825,701	9,842,497
固定負債		
長期借入金	-	600,020
資産除去債務	27,900	42,160
繰延税金負債	9,651	10,444
信託型ストックオプション関連損失引当金	-	80,165
固定負債合計	37,551	732,789
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	44,661	53,345
特別法上の準備金合計	44,661	53,345
負債合計	8,907,914	10,628,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	77,358	82,201
資本剰余金	12,239,531	12,210,022
利益剰余金	△4,090,784	△4,402,302
株主資本合計	8,226,105	7,889,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163	189
繰延ヘッジ損益	9,035	△605
為替換算調整勘定	12,370	16,562
その他の包括利益累計額合計	21,569	16,145
新株予約権	39,233	39,048
非支配株主持分	515,002	508,503
純資産合計	8,801,911	8,453,618
負債純資産合計	17,709,825	19,082,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,575,073	2,086,954
売上原価	797,029	928,353
売上総利益	778,044	1,158,601
販売費及び一般管理費	1,117,550	1,342,726
営業損失(△)	△339,505	△184,124
営業外収益		
受取利息	728	1,792
受取配当金	-	4
為替差益	1,713	371
消費税等差額	1,379	2,420
その他	951	641
営業外収益合計	4,773	5,229
営業外費用		
支払利息	766	2,020
創立費	1,899	-
その他	400	454
営業外費用合計	3,067	2,475
経常損失(△)	△337,799	△181,370
特別利益		
新株予約権戻入益	158	-
特別利益合計	158	-
特別損失		
減損損失	25,336	20,955
金融商品取引責任準備金繰入	6,639	8,684
信託型ストックオプション関連損失	-	89,809
その他	1,574	-
特別損失合計	33,550	119,448
税金等調整前四半期純損失(△)	△371,192	△300,819
法人税、住民税及び事業税	59,277	67,497
法人税等調整額	△11,588	△10,668
法人税等合計	47,689	56,828
四半期純損失(△)	△418,881	△357,648
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△72,272	△46,129
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△346,609	△311,518

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△418,881	△357,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	25
繰延ヘッジ損益	-	△9,641
為替換算調整勘定	19,117	9,470
その他の包括利益合計	19,104	△145
四半期包括利益	△399,776	△357,793
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△336,987	△316,942
非支配株主に係る四半期包括利益	△62,789	△40,850

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△371,192	△300,819
減価償却費	26,640	35,180
減損損失	25,336	20,955
信託型ストックオプション関連損失	-	89,809
貸倒引当金繰入額	-	△1,894
受取利息及び受取配当金	△728	△1,796
支払利息	766	2,020
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△9,528	42,223
仕入債務の増減額(△は減少)	7,532	△4,780
未収入金の増減額(△は増加)	△10,060	△106,085
営業貸付金の増減額(△は増加)	-	△494,240
預り金の増減額(△は減少)	162,071	409,901
証券業における預託金の増減額(△は増加)	30,000	△810,000
証券業における信用取引資産及び信用取引負債の増減額	198,437	△700,571
証券業における短期差入保証金の増減額(△は増加)	△16,223	△139,745
証券業におけるトレーディング商品の増減額	△1,828	27,942
証券業における預り金及び受入保証金の増減額(△は減少)	△136,290	825,966
金融商品取引責任準備金の増減額(△は減少)	6,639	8,684
その他	△109,461	123,831
小計	△197,889	△973,417
利息及び配当金の受取額	581	961
利息の支払額	△766	△2,020
法人税等の支払額	△55,805	△77,720
法人税等の還付額	-	4,955
営業活動によるキャッシュ・フロー	△253,879	△1,047,241
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△83,115	△15,538
無形固定資産の取得による支出	△66,019	△92,884
資産除去債務の履行による支出	△9,650	-
定期預金の預入による支出	-	△72,000
敷金及び保証金の差入による支出	-	△45,528
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158,785	△225,951
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	800,000
長期借入金の返済による支出	△37,500	△37,500
株式の発行による収入	20,984	9,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,515	772,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,733	12,193
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△411,447	△488,999
現金及び現金同等物の期首残高	5,792,996	5,354,377
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,381,548	4,865,378

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

信託型ストックオプション関連損失

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

2023年5月30日に、国税庁が公表した「ストックオプションに対する課税(Q&A)」の中で、国税庁は、従業員等が信託型ストックオプション(以下、「信託S0」)の権利を行使して株式を取得した時点で、会社からの実質的な給与とみなされるとの見解(以下、「国税庁の見解」)を公表し、過去に権利行使済みの信託S0について、会社側に源泉所得税の支払いを求めました。

今回の国税庁の見解を踏まえ、当社が導入している信託S0に関して、外部専門家との協議や確認等を行い、当初想定していなかった追加的な負担が役職員等に生じ、当初想定していたインセンティブが発揮されないことから、これまでの役職員等とのコミュニケーションや本信託S0の導入経緯を踏まえ、求償権の一部を放棄する等の方針とすることとしました。

これら一連の意思決定の結果、第2四半期連結累計期間において、特別損失に信託型ストックオプション関連損失89,809千円を計上しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融インフラ ストラクチャ 事業	フィンテック ソリューション 事業	ビッグデータ 解析事業	計		
売上高						
証券インフラストラクチャ ビジネス	262,694	—	—	262,694	—	262,694
保険インフラストラクチャ ビジネス	222,409	—	—	222,409	—	222,409
クレジットインフラストラク チャビジネス	100,809	—	—	100,809	—	100,809
マーケティングビジネス	—	53,179	—	53,179	—	53,179
ソリューションビジネス	—	335,752	—	335,752	—	335,752
データライセンスビジネス	—	—	436,241	436,241	—	436,241
データ解析支援ビジネス	—	—	25,600	25,600	—	25,600
顧客との契約から生じる収益	585,913	388,932	461,841	1,436,687	—	1,436,687
その他の収益	138,386	—	—	138,386	—	138,386
外部顧客への売上高	724,299	388,932	461,841	1,575,073	—	1,575,073
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	724,299	388,932	461,841	1,575,073	—	1,575,073
セグメント利益又は損失(△)	△464,925	12,823	95,655	△356,447	16,941	△339,505

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額16,941千円は、報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額16,941千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融インフラ ストラクチャ 事業	フィンテック ソリューション 事業	ビッグデータ 解析事業	計		
売上高						
証券インフラストラクチャ ビジネス	421,389	—	—	421,389	—	421,389
保険インフラストラクチャ ビジネス	287,740	—	—	287,740	—	287,740
クレジットインフラストラク チャビジネス	128,432	—	—	128,432	—	128,432
マーケティングビジネス	—	59,177	—	59,177	—	59,177
ソリューションビジネス	—	450,895	—	450,895	—	450,895
データライセンスビジネス	—	—	506,112	506,112	—	506,112
データ解析支援ビジネス	—	—	51,647	51,647	—	51,647
顧客との契約から生じる収益	837,562	510,073	557,759	1,905,395	—	1,905,395
その他の収益	181,558	—	—	181,558	—	181,558
外部顧客への売上高	1,019,120	510,073	557,759	2,086,954	—	2,086,954
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,019,120	510,073	557,759	2,086,954	—	2,086,954
セグメント利益又は損失(△)	△338,013	28,796	100,383	△208,833	24,708	△184,124

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額24,708千円は、報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額24,708千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。